

令和4年度 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和5年2月24日(金) 11:00~12:00 場所: あやぐも館

2 参加者

学校評議員 (五十音順)

井上 恵一 (野村石油(株) 代表取締役)
佐藤 茂輝 (西予市教育委員会野村教育課長)
徳村 学 (西予自然牧場)
山岡 三枝 (西予市野城総合福祉協会事務局長)
吉川 多賀子 (まごころ銀行運営委員)

学校関係者評価委員 (五十音順)

大森 寿和 (西予市野村支所長)
岡部 一行 (城川中学校教頭)
酒井 康次 (西予市野村支所産業建設課長)
谷本 英樹 (有限会社タニヤ代表取締役)
水口 雅彦 (野村中学校教頭)

野村高校学校職員

児島 万代光 (教頭)
濱田 洋光 (事務長)
門田 生 (総務課長)
桑原 恵子 (教務課長)
中島 定信 (生徒課長)
松木 敦志 (進路課長)
大本 将人 (学校魅力推進課長)
新 正次 (農場長)
鎌谷 健太郎 (総務課)
千羽 孝幸 (総務課)



3 次第

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ

(3) 議題

ア 各課説明 (各課長)

各課長より資料にて説明

イ 意見交換

○情報教育について

- ・出席停止生徒に対するオンライン授業の実施については具体的にはどのように行っているのか。コロナ関係で出席停止になっているが授業は受けたいという生徒に対して、一人一台端末を活用した授業(個別対応)を行っている。県からの一人一台端末を利用したオンライン授業参加の推奨もあり、積極的に行っている。
- ・野村中学校、城川中学校でも保護者からの希望があってという前提であるが、すべて対応することになっている。

○あさぎり湖マラソン等の野村でのイベントの実施も計画されている。子どもたちにも野村を積極的にPRして欲しい。

○全国募集、また野村高校の畜産科について

- ・県下唯一にもかかわらず、入学者数が少なく大変残念である。もっとPRをして、県外から来てもらえる畜産科にしてほしい
- ・地元の人数は減少し続けている。今度はより県外にも目を向けていく必要性を感じている。
- ・地域産業、スマート農業等の充実があっても外に伝わっていないという課題がある。畜産科のあり方やアピールの面についても学校として全面的に進めていきたい
- ・畜産科の生徒の活躍が顕著。そのことが募集につながっていない点は、中学校時代の考え方、方向性が影響しているのではないかと考えている。地元の高校を盛り上げなければならないと思うが、少子高齢化が進んでいく今後は野村高校だけが特出することは難しいと思う。ただ、地域の中に根ざした生徒が増えることを目指して協力させていただきたく思う。
- ・全国募集について、卒業された方の出身校等も大切にしてアピールをしてほしい。

○学習について

- ・シルクの学習についての打診があった。積極的に地元の産業を学んでほしい。
- ・学校が用意するものではなく、生徒から出てくる要望をできるだけ生かすことが大切ではないかと感じる。生徒の主体性を尊重してほしい。

○昨年度と比較して

- ・昨年度と比較し、学校評価表の21項目中11項目は上昇している。制限の中で先生方の取組みに成果があったのではないかとと思われる。ただ、皆勤率については今後の課題として取り組んでほしい。

- (4) 事務連絡
- (5) その他
- (6) 校長あいさつ
- (7) 閉会の言葉